

とねわせがき

和歌山県産『刀根早生柿』が届きました



和歌山県九度山町とは…
 温暖な気候を生かした日本一の柿の産地で、紀ノ川の清流と高野山の緑豊かな里として知られています。
 上田市と九度山町は、真田氏の縁で姉妹都市となっています。
 今日の柿はこの九度山町を含む

『JA 紀北かわかみ』から届きました！

JA 紀北かわかみ キャラクター

かきたん



桃栗三年柿八年

桃や栗は植えてから3年たたないと実を結ばず、柿にいたっては8年もの年月が必要ということわざです。何事も成就するまでに相当の年数がかかる、という意味を持っています。
 おいしい柿を収穫するために生産者の皆さんは長い年月心を込めて柿の木の手入れをしています。
 今日は和歌山県の実産者の皆さんが大切に育ててくれたおいしい柿を味わっていただきましょう！！



刀根早生柿とは？

果実の大きさは240g程で甘みが強く、果汁もたっぷりです。
 渋柿なので、炭酸ガスなどを使って渋を抜いてから出荷されています。

JA 紀北かわかみ

JA 紀北かわかみ(紀北川上農業協同組合)は和歌山県北東部である橋本市、九度山町、高野町、かつらぎ町の1市3町を管轄エリアとする組織です。北は大阪府に接し、南は世界遺産の紀伊山地・高野山を仰ぎ見る、豊かな自然と歴史を誇る地域です。また日本有数の柿の生産地であり、全国トップクラスの品質と出荷量(約1万5,000t：2020年度)を誇ります。

